

武蔵野赤十字病院 患者サロンだより

みんなで語ろう会

ニュースレターNO.49 2016年 11月発行

2016年10月19日に第55回“みんなで語ろう会”を開催しました。秋らしいさわやかな日に、体験者12名(男性2名、女性10名)、ご家族2名(女性2名)、合計14名の方にご参加いただきました。家族や周囲の人とのかかわりについてなど、普段はなかなか表にあらわせない、心のうちを話す時間を持つことができました。そして、話すことで気持ちが軽くなり、次のことを考えられるようになることを、再認識する機会となりました。



サロンのお約束を確認して始まりました。

- ・自分のことは自分の言葉で話す
- ・他の方のお話は評価しないで聞く
- ・サロンでのお話は守秘義務を守る

以上三点です。お互いに評価せず聞きあうことで、自由に話せる場となりました。

○夫ががんになった時、医師からの説明には大学生と高校生だった子供達にも同席させた。母親からのまた聞きではどうしても現実味に乏しい。子供達を部外者にしないことはとても大切なこと。

一人で頑張ったら壊れてしまう。

○子供達は独立し、それぞれの家庭を持っている。夫はがん治療中だが、子供に話す時には心配させてはいけないと思い、つい「大丈夫だから」と言ってしまう。

○子供が小学生と中学生で、病気のことは最低限の話しにしているが、夫婦では全部話している。話すって大事だなと思う。

○病気の妻を遺していけないと思ってがんの治療をしている。元気に見えるによく言われるが、自分には弱みを見せたくない信念がある。サロンでは、同病だからこそ話せることもあり、話せば気持ちが楽になる。

○手術をしたら治ると思い込んでいる人の心無い言葉がショックだった。自分にとって、手術は治療の終わりではなく、始まりだったから。

○母のがんを、親戚などにはどこまで知らせるのか、家族で話し合ってようやく決めた。

○情報が多すぎて、調べれば調べるほどわからなくなってしまう。

○なるようになると思って、自分の病気のことはあまり詳しく聞かないようにしている。

ごく一部ですがご紹介させていただきました。次回もスタッフ一同、皆様の参加を心よりお待ちしております。

今後の予定

- 日時: **毎月・第3水曜日** 13時～15時
2016年12月21日(水)
2017年 1月18日(水)
- 場所: 武蔵野赤十字病院 多目的室
5番館 3F 情報ラウンジ横
- 対象: 主にがん患者さん・ご家族
どちらの医療機関にかかっても参加できます。
(申込みは不要です。参加費は無料です。)



主催: 特定非営利活動法人がん患者団体支援機構

〒154-0002 東京都世田谷区下馬5丁目28-7

E-mail: info@canps.jp <http://www.canps.jp>

Tel: 03-5787-6411

共催: 武蔵野赤十字病院